



# ほしかわ

3月号

令和4年2月25日

横浜市立 星川 小学校

校長 羽山 悟

TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>

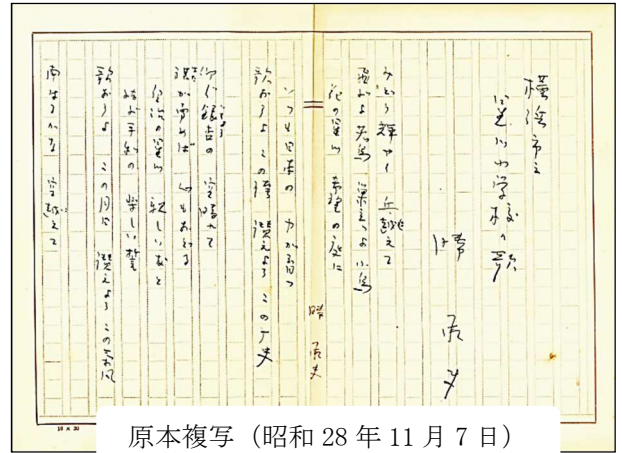


## つなぎ続ける宝 ものの校歌

こうちょう はやま さとる  
校長 羽山 悟

季節の変わり目の趣は、道端に見える草花の芽吹きを道しるべとして、小さな春の便りが届いたかのように伝えてくれています。星川小学校の校庭にも星の子たちを見守っている草木から、小さな春がたくさん芽吹いてきています。

学級閉鎖を通達させていただいた折には、各ご家庭のご心配やご苦労も多くあったと推察いたします。そして今、平常に学校運営できるような状態へ戻りつつあると思っています。この困難を乗り越えられるのも、ひとえに児童、保護者の皆様のご努力とご協力 の賜物だったと感謝いたしております。



原本複写（昭和28年11月7日）

しかしながら、このコロナ禍では、未だに校内で歌うこともままならない状態です。星の子たちは元気いっぱいですが、本校の校歌を精一杯歌うこともできなくなっていて、とても寂しく感じます。本校の校歌は、約70年前、制作に際して幾多の苦労があった中、80周年記念（昭和28年〈1953年〉）に、文部省唱歌「灯台守」などを創られた詩人勝承夫氏に作詞を依頼して、「五十音の唄」などを作曲した下總皖一氏へ作曲をお願いして、制定されました。その後、歴史を繰り返しながら星川小学校の証として歌声とともに受け継がれてきました。「花の星川、希望の庭に」「仰ぐ銀杏の、空晴れて」とありますように、春には桜が美しく咲き、学校をとりまく明神台などの青葉が目映るようです。秋には銀杏の葉が琥珀色に敷き詰められる近隣の何気ない様子も感じられます。この先何年も在校生、卒業生が、星川小学校の幾重の伝統とともに人生と寄り添った校歌であって欲しいと願っています。

149年度の年度も残りわずかになりました。かけがえのない日々を、星の子たちが有用感をもって生活できるよう、教職員一同邁進していきたくと思います。星の子たちへのいつものご声援をよろしく願いいたします。

### 横浜市立星川小学校創立150周年記念事業準備委員会

- 委員長 藤澤 守（岩間地区連合町内会会長、星川一丁目自治会長）
- 副委員長 高 崇（学校地域コーディネーター、学校関係者評価委員会会長、星の子応援隊長）
- 副委員長 坂井妙子（令和4年度PTA副会長）
- 会 計 宮台純子（本校副校長）、山崎大輔（本校事務）、浅野目由衣（令和4年度PTA会計）
- 会計監査 矢崎将一・上野志乃（学校コーディネーター、星の子応援隊）